

脱炭素経営推進へ 支援クラウド導入

三井住建道路

三井住建道路は、三井住友銀行が提供するCO₂排出量算定・削減支援クラウドサービス「Sustana」を導入した。同サービスは、グローバル基準の計算式を採用しており、自社やサプライチェーンのCO₂排出量を算定できる。

同社は、CO₂排出量削減目標を2030年度までに自社排出（スコープ1・2）で50%削減（20年度比）、サプライチェーン排出（スコープ3）で25%削減（同）を旨とし、取り組みを展開しており、脱炭素経営推進の一環でSustanaを導入した。

導入により、効率的なデータ集計が可能となって、会社

全体のCO₂排出量が早期に把握できる。そのデータを分析・可視化することで企業活動の実態に応じた最適な削減施策も選択できる仕様のため、CO₂排出量削減を加速させる効果が期待されている。

2022年11月22日付 建設通信新聞 (3面)

CO₂ 排出量減へ支援 クラウドサービス導入

三井住建道路

三井住建道路は脱炭素化の取り組みとして、三井住友銀行が提供する二酸化炭素（CO₂）排出量算定・削減支援クラウドサービス「Sustana（サスタナ）」を導入した。

サスタナは企業とサプライチェーン（供給網）全体のCO₂排出量の算定から削減施策の立案、実行に至る一連の業務をクラウドで管理できる。効率的なデータ集計が可能になり、データを分析、可視化することで企業活動の実態に応じた最適な削減施策が選べる。

同社は2030年度までに20年度比で自社排出量（スコープ1、2）を50%、サプライチェーン排出量（スコープ3）を25%削減する目標を掲げている。

2022年11月25日付 建設工業新聞(3面)